

## 第 47 年次（平成 30 年度）事業報告

### 1 教育文化事業

#### (1) 顕賞事業

当財団の主要事業である顕賞式を開催し、「教育文化特別賞」等（教育、文化、スポーツ等の各分野ですばらしい実績を収めた者に対して）の表彰をした。

##### ① 開催日

日 時	平成 31 年 2 月 16 日（土） 午後 2 時
場 所	あえりあ遠野 交流ホール

##### ②被顕賞者の実績

名 称	一般の部		児童・生徒の部		計	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
市民文化賞						
教育文化特別賞	1				1	
教育文化特別奨励賞	文化活動部門			1		1
	体育活動部門		1	1	1	1
教育文化奨励賞	文化活動部門		15	3	15	3
	国際交流部門	1				1
	体育活動部門		49	18	49	18
	社会活動部門					
合 計	1	1	65	23	66	24
平成 29 年度実績	9	1	36	17	45	18

#### (2) 教育文化事業の共催・後援

共催・後援を行った催し物は次のとおり。

開催年月日	区分	名 称
平30年		
4月1日(日)	共催	内田なおこ「ピアノ・ヴィオラ・歌」コンサート
7月21日(土)	共催	遠野市・日米交流アメリカンデー
8月26日(日)	後援	「津村和泉ピアノコンサート」
8月26日(日)	後援	第36回日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン
10月21日(日)	共催	第13回遠野市民芸術祭合同茶会
11月3日(土) ～4日(日)	共催	第13回遠野市民芸術祭舞台合同発表会、総合展示会
11月20日(火)	後援	遠野市芸術文化協会自主事業・平松加奈スペシャルプロジェクト「Bitter Sweet Samba Tour2018」遠野公演
11月25日(日) ～12月2日(日)	共催	「第17回絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展
平31年		
2月23日(土) ・24日(日)	共催	第44回遠野物語ファンタジー「天人子～まごころの贈り物」公演
3月10日(日)	共催	故・登坂慶子さんを偲ぶ会、思い出を語る会
3月17日(日)	後援	遠野市民バンドニュー・リバティーズ 「春のジョイントコンサート」
平成29年度実績		共催：5件、後援：3件

(4) 広報活動の推進

①新財団の設立趣旨及び事業概要を広く市民に周知するため、広報を発行し全戸配布した。

これまで顕賞結果については市の広報に掲載していたが、紙面の都合等の事情で財団広報に掲載する必要が生じたことと、財団の認知度を高めるために発行回数を2回から4回に増やした。

○広報発行 7月、1月及び3月は、6頁

11月は、4頁

②ホームページやフェイスブックにて随時情報発信をして、活動を広くPRした。

(5) 書籍販売

書籍の販売の実績は次表のとおり。(単価：円、冊)

書籍名	販売単価	販売冊数
山奈宗真	@ 420	1
早池峰妙泉寺文書	@ 2,280	1
佐々木喜善小伝	@ 800	0
遠野人工藤千蔵	@ 1,400	0
合 計		2
平成29年度実績		6

## 2 国際交流事業

イタリア共和国サレルノ市と米国チャタヌーガ市の姉妹都市のほか、友好関係にある海外との国際交流を推進するため、財団と市、市内関係機関・団体で構成する「遠野市姉妹都市等交流事業実行委員会」を平成 30 年度に設立。財団は事務局として、さまざまな国際交流事業の推進を図った。

### (1) 中高生海外派遣交流事業

次代を担う中高生の国際理解や国際交流への関心を高め、また、海外での異文化体験を通してグローバルな視野と感覚を醸成させるとともに、自国「日本」や郷土「遠野」を考える機会とし、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的に、アメリカ・テネシー州・チャタヌーガ市に中高生を派遣した。特に、地元高校の魅力化の一環で、高校生の派遣を拡大・拡充。定員を 4 名から 8 名に、費用負担を 1/3 から 1/10 にしたほか、ニューヨークでの 3 泊 4 日の大都市研修を追加した。

区分	開催年月日	内容
派遣生の選考委員会の開催	7/30・31	選考委員：5 人
事前研修の開催（6 回）	8/31・9/30・10/18・11/1・11/21・12/7	
結団式	12/25	あえりあ遠野中ホール 出席者：約 70 人
派遣 中学生：CSLA 校 高校生：CSAS 校	中学生：1/4～1/16 高校生：1/4～1/19	派遣者／団長（中浜教育長）、中学生 9 人、高校生 8 人 引率者／中高教諭 2 人、事務局 2 人
報告会	2/4	あえりあ遠野交流ホール 出席者：約 90 人

### (2) 姉妹都市交流事業

#### ①イタリア・サレルノ市

平成 31 年度(2019 年度)にサレルノ市との姉妹都市締結 35 周年を迎えることから、平成 30 年 12 月 1 日に開催される「第 72 回サレルノ国際映画祭」に市民センター参事(財団常務理事兼事務局長)が出席し、「遠野賞」を授与した。

この映画祭には、遠野早池峰ふるさと学校などを中心に活動している写真家・新井卓さんが監督した「映像詩・オシラ鏡」が、短編映画部門最高賞を受賞した。

また、平成 31 年 2 月 16 日には、財団顕賞式後にあえりあ遠野において、市民向けに「映像詩・オシラ鏡」の特別試写会を開催した。

#### ②アメリカ・チャタヌーガ市

姉妹都市締結 1 周年を記念して、平倉神楽保存会を中心とした公式訪問団をチャタヌーガ市に派遣した。

日 程 平成 30 年 11 月 10 日(土)～16 日(金) 5 泊 7 日

団 員 団長(財団理事長)、平倉神楽保存会 10 名、引率職員 2 名、遠野テレビ 1 名  
計 14 名

内 容 神楽公演6回（市役所公式セレモニー、CSLA 校、CSAS 校、テネシー大学チャタヌーガ校、こども科学館、コマツ社）

(3) ドイツ・シュタイナウ市との交流

今年度未実施

(4) コーディネーターの活用

外国との交流を行うコーディネーター(現地との連絡調整を担う者)の養成(育成)について、遠野市は、チャタヌーガ市との交流強化に向け市職員を現地に派遣することとして、当財団の伊香学スタッフを5月から翌年3月までチャタヌーガ市に研修派遣をした。

なお、派遣期間は、今年9月まで延長する予定である。

(5) 国際理解事業

英会話教室等、外国語を学ぶ機会の提供や来遠の外国人観光客等に日本文化体験を通じて外国人との交流の機会提供の充実に努め、国際化の推進を図った。

①キッズワールドクラブ

本格的に英語を学習する前の段階で、楽しく英語に触れること（英語を使用したゲームや絵本の読み聞かせなど）により英語に対する抵抗感をなくすとともに、異文化理解の心を育むことを目的に、幼児と小学生を対象とした英語に親しむ教室を開催した。

○実績等

コース・対象等	実施月日							会 場	受 講 人数等	
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回			
アップルコース 幼児(年少～年長)	6/ 9	7 /14	8 /18	9/ 8	10/ 6	11/ 10	12/1 (合同)	勤労青少年 ホーム集会 室、中ホール	23名	
ストロベリーコース (小学1・2年)	6/ 9	7 /14	8 /18	9/ 8	10/ 6	11/ 10			11名	
フラワーコース (小学3・4年)	6 /11	7/ 2	8/ 6	9 /10	10/ 15	11/ 5			12/ 10	12名
スターコース (小学5・6年)	6 /21	7 /12	8/ 9	9 /27	10/ 11	11/ 8			12/ 20	6名

②遠野 de 日本文化体験事業

今年度実績なし

③実践おもてなし講座の開催

今年度実施なし

(6) 在住外国人支援事業

①日本語教室の開催

在住外国人支援の一つとしての活動。ボランティアが学習支援を行うとともに、地域住民と在住外国人とのかけはしとなることを目指し、4月から3月まで延べ21回開催した。

○学習者 28名(延べ173名)      ○日本語ボランティア 6名

(7) 普及啓発事業

国際交流事業について市民の理解を深めるため、ホームページやフェイスブック等で情報提供を行い、啓発活動を実施した。

(8) その他の外国との国際交流関連事業

遠野市観光推進協議会・FIT(海外個人観光客)ワーキンググループのリーダーとして、インバウンド事業推進に向けて活動した。

### 3 生涯学習事業（市からの受託事業）

市から委託を受けている生涯学習事業については、契約内容に沿って着実に実施した。

#### (1) 生涯学習のまちづくり推進事業

##### ①生涯学習講座

各種講座を開催し、毎月、広報遠野「学びのいずみ」への原稿提供をし、生涯学習講座等の参加者募集を行った。

特に、国際理解講座については、遠野在住の海外活動経験者や岩手県国際交流協会の人材バンクを活用して講師を選択し、遠野にいながら他の国について身近に感じられるように、知識だけでなく、料理なども取り入れて開催した。

##### ○実績

分 類	講座名等	開催日	受講人数	H29 実績
郷 土 理 解	遠野遺産巡り『遠野物語』の世界編	H30/10/30	10名	23名 (2講座)
	在住外国人向け郷土理解講座「遠野巡り」	10/21	20名	
情報化社会	IT講座(超初級・エクセル初級・ワード初級・デジタルフォトの4コース)	各4回	44名	73名 (4コース)
国 際 理 解 国 際 協 力	国際理解講座(エルサルバドル、台湾)	6/27 10/2	18名	37名 (3カ国)
	英会話コミュニケーション講座	H30/2/19 25、27	19名	
趣 味	植物物語(稻荷穴編)	6/19	6名	54名 (4講座)
	植物物語(芝谷地、長走風穴編)	7/19	12名	
	手づくり講座(ハーバリウム教室)	12/19	11名	
	男の料理教室	3/19	6名	
そ の 他	若者向け講座「キレイになるためのセルフケア入門」	11/28	7名	14名
	大人向け「ボイストレーニング」講座	6/1 9/28	27名	56名
計			180名	297名

##### ②市民協働企画事業(マナビィクラブ)

市民が行う各種講座運営の支援、完成作品を市民芸術祭に展示した。

##### ③PR活動

広報とおの「学びのいずみ」への情報提供(毎月)や財団広報、チラシ、ホームページ及びフェイスブックを通じ、生涯学習講座等の参加者を募集した。

#### (2) 青少年活動サポート事業

少年少女ふるさと発見探偵団や少年少女囲碁・将棋教室などを行い、青少年の健全育成を推進した。

##### ①少年少女ふるさと発見探偵団

開催日(開催回数)	内 容 等
①5/26 ②7/7 ③8/4-5 ④10/13⑤12/8 ⑥2/23(6回)	活動を通して児童同士の交流と郷土の魅力発見に取り組んだ。団員数13名

②青少年囲碁・将棋教室

分 類	開催日（開催回数）	会 場	受講者数等
青少年囲碁・将棋教室	①6/9 ②7/8 ③8/11 ④9/2 ⑤10/7 ⑥11/11 ⑦12/2	勤労青少年ホーム 集会室及び書院	受講児童数 33名
青少年囲碁・将棋教室大会	H31/1/26	勤労青少年ホーム 集会室及び書院	参加児童数 24名

\*7/21はプロ棋士2名(うち1名は女流プロ棋士)を招へいた。

(3) ユネスコに関すること

遠野ユネスコ協会の事業を推進するため共催や協力及び事務局支援を行った。

(4) 地域づくりにつながる事業展開

今年度未実施

(5) 生涯学習活動の情報提供の充実

市内で行われる生涯学習活動の情報を収集し、市民に活用してもらえるよう、広報とおの「学びのいずみ」での情報提供のほか、ホームページ、Facebook等の電子媒体に掲載した。

(6) サポーターの養成

財団活動の円滑な実施を支援してもらうとともに、サポーターが活動実践を通じて、人と人との触れ合いの中で、ボランティア精神の醸成やコミュニケーション能力を養成するため、財団活動サポーターを募集・登録して、財団が主催または共催する事業に協力いただいた。

区 分	H 3 0	H 2 9	H 2 8
高校生	14	38	29
大学生	2		
一 般	2	2	2
計	18	40	31

#### 4 芸術振興事業（市からの受託事業）

市から委託を受けている芸術振興事業については、契約内容に沿って着実に実施した。  
主なものは次のとおりである。

##### （1）公演事業(市民センター自主事業・岩手県青少年劇場)の実施

###### ①市民センター自主事業

実施年月日	公演名	会 場	鑑賞者数
平成 30 年 6 月 30 日	北海道歌旅座 「昭和の歌コンサート」	みやもりホール	256 名
9 月 22 日	めざましクラシックス in 遠野	市民センター 大ホール	600 名
計			856 名

###### ②岩手県青少年劇場

実施年月日	公演名	場 所	鑑賞者数
平成 30 年 6 月 25 日	ワールド 「ALOHA!フラ!ハワイか らの贈り物～いま、この瞬間を分 かちあおう～」	市民センター 大ホール みやもりホール	566 名 152 名
計			718 名

##### （2）遠野市民芸術祭(遠野市民芸術祭合同茶会、遠野市民芸術祭等)の開催

第13回遠野市民芸術祭合同茶会及び遠野市民芸術祭を実行委員会方式により行った。

分 類	開催日	会 場	入場者数	H29
合同茶会	平成 30 年 10 月 21 日	市民センター講義室 青少年ホーム和室	300 名	300 名
舞台合同発表会	11 月 3 日・4 日	市民センター大ホール	874 名	823 名
総合展示会	11 月 3 日・4 日	市民センター体育館	1,236 名	2,324 名
計			2,410 名	3,447 名

##### （3）遠野少年少女合唱隊の運営

遠野少年少女合唱隊の充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。

###### ①毎週土曜日の通常レッスン

###### ②発表会等の開催

分 類	開催日	会 場	備 考
入隊式	5 月 12 日	勤労青少年ホーム音楽室	入隊者 2 名
千石史子ミニコンサート	6 月 2 日	市役所本庁舎	14 名出演
昭和の歌コンサート	6 月 30 日	みやもりホール	13 名出演
青年会議所第 48 回岩手ブロック 大会 in 遠野	7 月 7 日	あえりあ遠野交流ホール	13 名出演
第 29 回発表会	11 月 11 日	あえりあ遠野中ホール	入場者数 133 名
ハートフルステージ～音楽で育 む「人権」の集い	12 月 1 日	あえりあ遠野中ホール	14 名出演
とびあクリスマスミニコンサ ート	12 月 16 日	とびあ	16 名出演
遠野物語ファンタジー	平成 31 年 2 月 23 日 ～24 日	市民センター大ホール	14 名出演

③入隊者数（平成 31 年 3 月 31 日現在） 16 名



(4) 遠野市民センターバレエスタジオの運営

遠野市民センターバレエスタジオの充実を図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。

①毎週、金・土曜日の通常レッスン

②発表会等の開催

分 類	開催日	会 場	備 考
遠野市民センターバレエスタジオ 入所式	平成 30 年 5 月 12 日	市民センター自由劇場	入所者数 2 名
遠野市民センターバレエスタジオ 第 41 回発表会	11 月 18 日	市民センター大ホール	入場者数 555 名

③入所者数（平成 31 年 3 月 31 日現在） 35 名

(5) 市民の舞台遠野物語ファンタジー

遠野物語ファンタジー制作委員会主催による第44回市民の舞台遠野物語ファンタジー旗揚げ会、公演及び打ち上げ会を事務局として行った。

区 分	期 日	会 場	参加人数
旗揚げ会	平成 30 年 12 月 4 日	あえりあ遠野中ホール	100 名
公 演	平成 31 年 2 月 23 日・24 日	市民センター大ホール	1 回目 588 名 2 回目 504 名 3 回目 425 名 合計 1,517 名
打ち上げ会	2 月 24 日	あえりあ遠野交流ホール	203 名

## 5 会議等の開催

### (1) 理事会、評議員会の開催

財団運営の重要事項等について、適正な決定を行うため次のとおり開催した。

開催時期	名 称	審議(議案)内容
平成 30 年 5 月 17 日(金)	第 1 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団定款の変更について</li> <li>○事務処理規定の一部改正について</li> <li>○役員等の報酬、費用弁償及び旅費規則の一部改正について</li> <li>○第 46 年次(平成 29 年度)事業報告及び収支決算並びに公益目的支出計画実施報告書について</li> <li>○第 47 年次(平成 30 年度)補正予算(第 1 号)について</li> </ul>
5 月 25 日(金)	第 1 回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 46 年次(平成 29 年度)事業報告及び収支決算並びに公益目的支出計画実施報告書について</li> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団定款の変更について</li> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団理事の選任について</li> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団監事の選任について</li> </ul>
5 月 25 日(金)	第 2 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理事長の互選について</li> <li>○常務理事の互選について</li> </ul>
9 月 27 日(木)	第 3 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 47 年次(平成 30 年度)補正予算(第 2 号)について</li> <li>○顕賞委員の委嘱について</li> </ul>
平成 31 年 1 月 15 日(火)	第 4 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第 47 年次(平成 30 年度)補正予算(第 3 号)の専決処分に関し承認を求めることについて</li> <li>○平成 30 年度(第 45 回)遠野市教育文化振興財団被顕賞者の決定について</li> <li>○給与規則の一部改正について</li> <li>○役員等の報酬、費用弁償及び旅費規則の一部改正について</li> <li>○理事長が委嘱又は依頼する各種委員報酬及び講師等の報償費並びに費用弁償及び旅費に関する規則の一部改正について</li> <li>○遠野市民文化賞・教育文化奨励賞被表彰者推薦要領の一部改正について</li> <li>○第 2 回評議員会の招集について</li> </ul>
3 月 20 日(水)	第 5 回理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団定款の変更について</li> <li>○受託契約の締結について</li> <li>○第 48 年次(平成 31 年度)事業計画及び収支予算について</li> <li>○平成 31 年度第 1 回評議員会の招集について</li> </ul>
3 月 27 日(水)	第 2 回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般財団法人遠野市教育文化振興財団定款の変更について</li> <li>○役員等の報酬、費用弁償及び旅費規則の一部改正について</li> <li>○第 48 年次(平成 31 年度)事業計画及び収支予算について</li> </ul>
3 月 29 日(金)	第 6 回理事会 (持ち回り開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受託契約の締結について</li> </ul>

(2) 内部会計監査機能の充実

下記日程で会計及び事業監査を実施(受検)し、適正な業務執行に努めた。

開催時期	名 称	内 容 等
平成 30 年 5 月 14 日(月)	決算監査	事業報告及び収支決算を監査 出席者 監事 2 名 財団職員 2 名

# 貸借対照表

平成31年 3月31日現在

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24,805,198	3,480,456	21,324,742
販 売 用 書 籍	2,497,550	2,501,950	4,400
未 収 金	32,400	0	32,400
立 替 金	0	147,420	147,420
流動資産合計	27,335,148	6,129,826	21,205,322
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
投 資 有 価 証 券	70,096,480	100,221,480	30,125,000
基本財産合計	80,096,480	110,221,480	30,125,000
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	557,484	0	557,484
減 価 償 却 累 計 額	215,743	0	215,743
その他固定資産合計	341,741	0	341,741
固定資産合計	80,438,221	110,221,480	29,783,259
資産合計	107,773,369	116,351,306	8,577,937
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	985,735	855,092	130,643
預 り 金	53,181	54,281	1,100
預 り 源 泉	70,729	65,110	5,619
預 り 社 会 保 険	264,666	225,025	39,641
未 払 消 費 税 等	2,038,100	1,903,000	135,100
流動負債合計	3,412,411	3,102,508	309,903
負債合計	3,412,411	3,102,508	309,903
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	104,360,958	113,248,798	8,887,840
(うち基本財産への充当額)	(128,516,558)	(118,517,558)	(9,999,000)
正味財産合計	104,360,958	113,248,798	8,887,840
負債及び正味財産合計	107,773,369	116,351,306	8,577,937

# 正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 79,774]	[ 108,729]	[ 28,955]
基本財産運用益	79,774	108,729	28,955
受託収益	[ 54,854,000]	[ 51,252,000]	[ 3,602,000]
遠野市受託事業	54,854,000	51,252,000	3,602,000
事業収益	[ 532,806]	[ 1,545,008]	[ 1,012,202]
事業収益	532,806	1,545,008	1,012,202
受取補助金等	[ 100,000]	[ 106,000]	[ 6,000]
受取地方補助金	0	6,000	6,000
受取民間助成金	100,000	100,000	0
受取負担金	[ 76,396]	[ 648,558]	[ 572,162]
受取負担金	76,396	648,558	572,162
受取寄付金	[ 228,972]	[ 280,528]	[ 51,556]
受取寄付金	228,972	280,528	51,556
雑収利益	[ 182,031]	[ 129,396]	[ 52,635]
受取利息	16,405	1,168	15,237
雑収益	165,626	128,228	37,398
経常収益計	56,053,979	54,070,219	1,983,760
(2) 経常費用			
事業費	[ 59,829,322]	[ 66,172,083]	[ 6,342,761]
給料手当	( 23,184,766)	( 27,737,964)	( 4,553,198)
給料手当	20,589,874	25,194,523	4,604,649
時間外手当	1,830,592	1,632,341	198,251
通勤手当	197,300	575,600	378,300
扶養手当	156,000	13,000	143,000
住居手当	411,000	322,500	88,500
法定福利費	3,529,571	4,053,861	524,290
退職給付費用	862,000	544,000	318,000
福利厚生費	83,446	88,863	5,417
食料費	68,686	137,188	68,502
広告費	113,400	0	113,400
旅費交通費	726,020	3,104,953	2,378,933
筆耕翻訳料	52,480	0	52,480
通信運搬費	289,992	351,352	61,360
使用料	572,484	485,914	86,570
支払手数料	201,379	116,815	84,564
消耗品費	4,447,035	2,714,824	1,732,211
修繕費	20,000	0	20,000
交際費	24,400	9,359	15,041
印刷製本費	1,285,164	2,587,901	1,302,737
燃料費	192,972	120,420	72,552

科 目	当年度	前年度	増 減
賃借料	3,441,332	3,104,948	336,384
保険料	405,960	519,522	113,562
研修費	6,900	23,850	16,950
諸謝金	1,641,300	2,104,839	463,539
支払負担金	4,895,655	3,447,000	1,448,655
支払助成金	130,000	162,080	32,080
委託費	13,642,180	14,754,640	1,112,460
雑費	12,200	1,790	10,410
管理費	[ 4,936,497]	[ 3,608,382]	[ 1,328,115]
役員報酬	246,000	266,000	20,000
給料手当	( 4,794)	( 3,414)	( 1,380)
時間外手当	4,794	3,414	1,380
福利厚生費	12,922	30,000	17,078
会議費	11,400	2,800	8,600
旅費交通費	183,430	60,350	123,080
通信運搬費	1,686	510	1,176
使用料	115,295	122,373	7,078
減価償却費	215,743	0	215,743
支払手数料	250,986	125,304	125,682
販売図書原価	4,400	8,400	4,000
消耗品費	38,549	74,389	35,840
修繕費	21,540	10,800	10,740
交際費	68,000	60,572	7,428
印刷製本費	302,302	4,050	298,252
諸会費	34,000	34,000	0
顧問料	583,200	583,200	0
租税公課	2,842,250	2,212,220	630,030
支払寄付金	0	10,000	10,000
経常費用計	64,765,819	69,780,465	5,014,646
評価損益等調整前当期経常増減額	8,711,840	15,710,246	6,998,406
投資有価証券評価損益等	[ 176,000]	[ 132,480]	[ 43,520]
投資有価証券評価損益等	176,000	132,480	43,520
評価損益等計	176,000	132,480	43,520
当期経常増減額	8,887,840	15,842,726	6,954,886
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,887,840	15,842,726	6,954,886
一般正味財産期首残高	113,248,798	129,091,524	15,842,726
一般正味財産期末残高	104,360,958	113,248,798	8,887,840

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	104,360,958	113,248,798	8,887,840

# 財産目録

平成31年 3月31日現在

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金		24,805,198
		岩手銀行(0257314) )運用		22,965,662
		岩手銀行(2074898) )寄附金		1,839,536
	販売用書籍			2,497,550
	遠野史叢			16,150
	早池峰山妙泉寺 山奈宗真			615,600 199,800
	遠野人工藤千蔵 未収金			1,666,000 32,400
流動資産合計				27,335,148
(固定資産)	基本財産	定期預金		10,000,000
		定期預金(普及啓 発)		10,000,000
		投資有価証券		70,096,480
		第4回投資信託( 野村公社債投資) 静岡県債(5年)		9,997,000 60,099,480
	その他固定資産	什器備品		557,484
		減価償却累計額		215,743
		什器備品		215,743
固定資産合計				80,438,221
資産合計				107,773,369
(流動負債)	未払金			985,735
	預り金			53,181
	預り源泉			70,729
	預り社会保険			264,666
	未払消費税等			2,038,100
流動負債合計				3,412,411
負債合計				3,412,411
正味財産				104,360,958



財務諸表に対する注記

一般財団法人 遠野市教育文化振興財団

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日（平成21年10月16日改正）内閣府公益認定等委員会）を採用した。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有有価証券は償却減価法（定額法）

(2) リース取引の処理方法

リース総額300万円未満のリース契約については、賃貸借取引として会計処理を行う。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
有価証券	100,221,480	0	30,125,000	70,096,480
備品	0	557,484	215,743	341,741
小 計	110,221,480	557,484	30,340,743	80,438,221
合 計	110,221,480	557,484	30,340,743	80,438,221

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	(0)
有価証券	70,096,480	(0)	(70,096,480)	(0)
小 計	80,096,480	0	80,096,480	(0)
合 計	80,096,480	0	80,096,480	(0)

(記載上の留意事項)

基金からの充当額がある場合には、財源の内訳として記載するものとする。

6. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
第4回投資信託（野村公社債投資）	9,997,000	9,997,000	0
静岡県平成27年度第4回公募公債（5年）	60,099,480	60,099,480	0
合 計	70,096,480	70,096,480	0

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし